



こおりやま街の学校

日々の暮らしを豊かにできる実行力を育む学びと実践の場

「こおりやま街の学校 2022」

チームプロジェクト中間報告会を開催します

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



ターゲット 17.17

令和4年9月8日

郡山市文化スポーツ部

国際政策課

課長 石井 章浩

TEL：924-3711

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

一人ひとりが暮らしをより主体的に楽しみ、地域と関わりながら活動の一步を踏み出すことを目指す「こおりやま街の学校 2022」の本校生 35 名が、音楽・食・アートをテーマにチームに分かれ、令和4年 11 月6日（日）開催予定の「まちがくまつり」において表現・実行するプログラムの企画や計画を進めています。

今回は、学校長である指出 一正（さしで かずまさ）氏とチームプロジェクト伴走支援者である柴田 大輔 氏に対して、企画の内容や趣旨、計画の進捗状況などを各チームからプレゼンテーションする中間報告会を開催します。

- 1 日 時 9月10日（土）午後1時30分から午後3時まで
- 2 会 場 郡山市役所本庁舎2階「正庁」（郡山市朝日一丁目23-7）
- 3 報 告 者 「こおりやま街の学校」本校生 35 名
※ チームプロジェクトへの参画を希望した本校生のみが参加します。
- 4 講 師 紹 介

「こおりやま街の学校」学校長



株式会社ソトコト・プラネット 代表取締役
未来をつくるSDGsマガジン「ソトコト」編集長
指出 一正 氏

チームプロジェクト伴走支援講師



株式会社はじまり商店街 共同代表取締役
コミュニティビルダー
柴田 大輔 氏

5 プレゼンテーション概要



テーマ「音楽」

音楽Aチーム（6名）

ごみを使って音が出る簡単な楽器を作り、音を奏でるワークショップを開催します。

音楽Bチーム（6名）

メンバーそれぞれが、音楽をテーマとした100日間のチャレンジに取り組中。記録と成果を発表します。



テーマ「食」

食Aチーム（6名）

生産量日本一を誇る郡山産の鯉を使用した料理を鯉食文化のストーリーとともに提供します。

食Bチーム（5名）

メンバーがこおりやまブランド野菜の生産者と実際に交流し感じたリアルを伝えます。



テーマ「アート」

アートAチーム（6名）

落ち葉などを使ったお面づくりを親子参加型のワークショップとして開催します。

アートBチーム（6名）

福島の伝統工芸品である「赤べこ」をモチーフにした神輿の制作を来場者参加型で開催します。



≪「まちがくまつり」とは≫

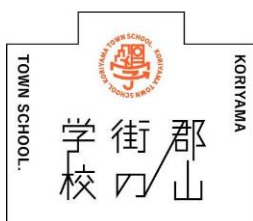
こおりやま街の学校（通称：まちがく）の本校生と、参加者の皆さんでつくりあげる、学校の文化祭のような、まちがくオリジナルのイベントです。

テーマは、暮らしの中の「わくわく」をおすそわけ。

まちがくの本校生が、暮らしの中で見つけたり感じたりしている「わくわく」を食・アート・音楽の3つのテーマに分かれて発表・表現します。

≪「こおりやま街の学校」とは≫

「こおりやま街の学校（まちがく）」は、郡山の街なかをキャンパスとして、地域づくりなどの考え方やノウハウを座学と実践によって身につけることができる学校です。



こおりやま街の学校公式 WEB サイト：<https://machigaku.jp>

